

発表日 :平成21年10月22日

所属 :奈良県商工労働部産業支援課
科学技術振興グループ

担当 :田原、池田

E-Mail :sangyo@office.pref.nara.lg.jp

電話 :0742-27-8814

所属 :(財)奈良県中小企業支援センター
地域結集型共同研究室

担当 :城家、浅井

E-Mail :koto-nara@nashien.or.jp

電話 :0742-36-8316

報 道 資 料

産学官共同研究で、奈良の伝統野菜「大和まな」の優良新品種が完成 ～ 最先端科学の力で、伝統野菜をより身近に ～

このたび、奈良の伝統野菜「大和まな」の優良な新品種が完成しました。奈良県では、平成17年度より、(独)科学技術振興機構の地域結集型研究開発プログラムにおいて、奈良先端科学技術大学院大学、ナント種苗(株)及び県農業総合センターの共同研究により、大学が有する先端的な研究成果を活かした優良品種の育種を進めてきました。

本プログラムは、大学の研究成果を活かした共同研究により、農業の生産性向上をはじめとした地域経済の活性化を目指すものです。

○新品種の特徴

従来の大和まなの品質(美味しさと形状)を保ちながら、

- ①日持ちがよく、形状が揃う
- ②機能性成分の含有量が高い
- ③夏の高温時期にも品質のよい生産物を出荷できる

○自家不和合性研究を育種に応用する場合のメリット

自家不和合性は、アブラナ科などでみられる自家受粉で種子ができない形質のことで、奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科では、この研究分野(関連遺伝子やメカニズムの解明など)で、世界をリードする立場にあり、これまで多くの成果を上げてきました。

同大学での研究成果を活かして、自家不和合性遺伝子に着目した育種を行うことにより、通常の方法と比べて効率的に育種を行うことができ、種苗会社の有用な開発技術となります。

○新品種普及の推進方策

県では、この新品種により、軟弱野菜生産農家や直売所向け生産者への普及活動を行い、生産面積の拡大を図るとともに、加工・業務用用途の拡大、さらに店頭でのレシピ紹介・試食や食育を通じたPR活動などを展開していきます。

また、種子の販売は来年の予定ですが、それに先立ち、11月3日(火)～23日(月)に奈良公園浮雲園地とその周辺で開催される食のイベント「奈良フードフェスティバル 2009」において、有名シェフによる新品種を用いた料理の提供や「マルシェ&カフェ」での青果販売等が予定されています。

この件に関するお問合せ先

【新品種の内容や販売に関すること】

ナント種苗(株) 梶田 TEL. 0745-87-3161

【共同研究に関すること】

農業総合センター 浅尾 TEL. 0744-22-6201

【伝統野菜や新品種の普及に関すること】

県農林部農業水産振興課 豊田 TEL. 0742-22-1101 内線 3853

【地域結集型研究開発プログラムに関すること】

県商工労働部産業支援課 田原 TEL. 0742-22-1101 内線 3566

又は(財)奈良県中小企業支援センター 城家 TEL. 0742-36-8316